

美作市タクシー利用補助についての調査

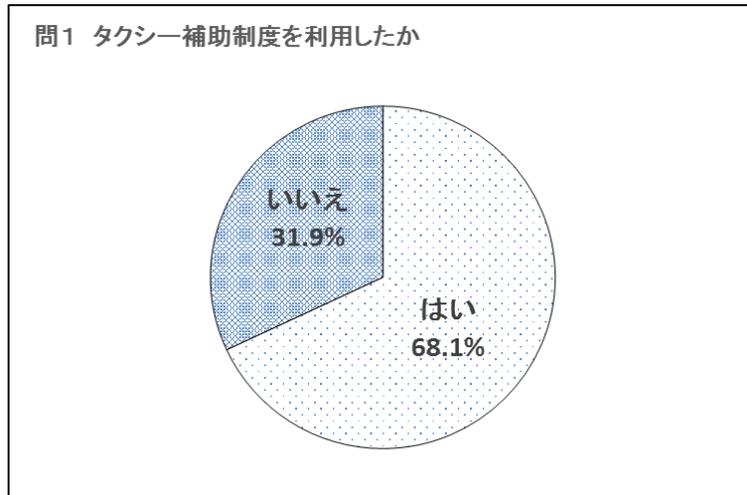
報 告 書

平成31年3月

美 作 市

1 調査結果

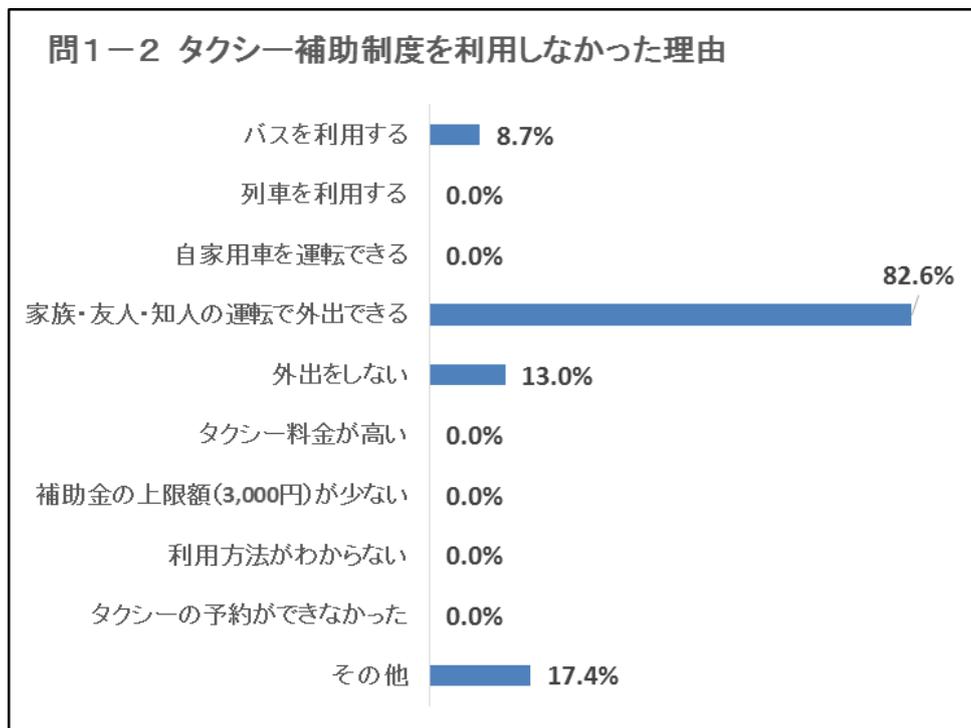
問1 あなたはタクシー補助を使ってタクシーに乗りましたか（回答は1つ）



前回調査よりも「はい」と回答した人の割合が 24.2 ポイント増加しています。市民の皆様に制度が周知されたことで、利用率が増加したことがうかがえます。

問1-2 タクシー補助を使わなかった理由を教えてください（複数回答可）

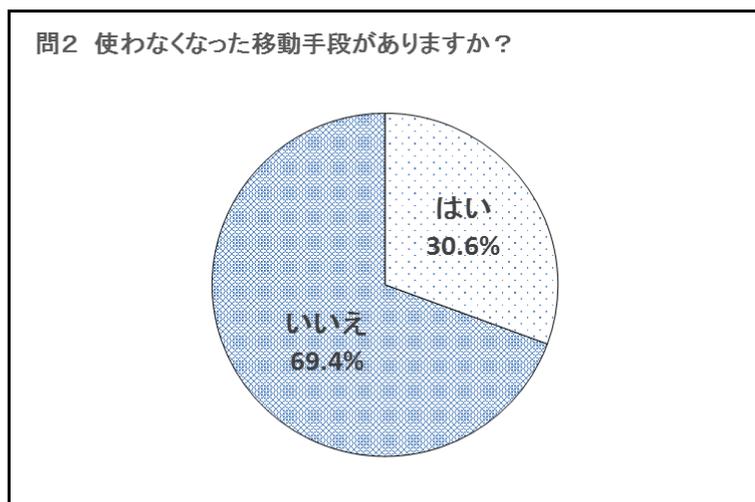
（問1で「いいえ」を選んだ方のみ）



タクシー補助を使わなかった理由としては、「家族・友人・知人の運転で外出できるから」という回答が最も多く 82.6%という結果でした。次が「その他」で 17.4%、3 番目が「外出をしない」で 13.0%という結果でした。また、「バスを利用する」という回答も 8.7%ありました。

その他の内容としては、「遠くへ行かないから」「足が悪いから」「利用者証を忘れたから」というものでした。

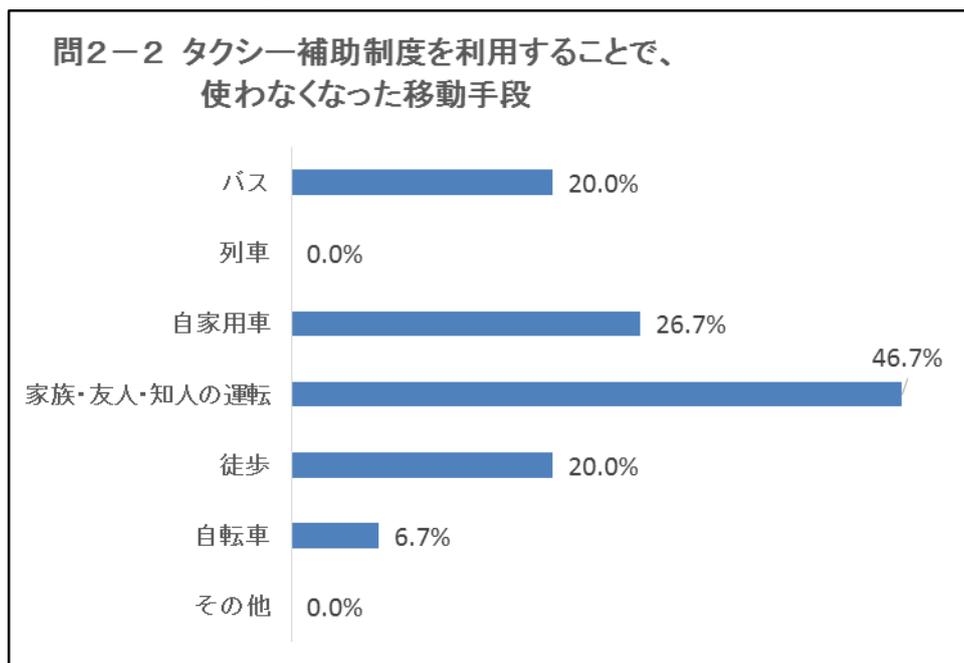
問2 タクシーを利用することで使わなくなった移動手段がありますか（回答は1つ）



補助制度開始以前からタクシーを利用していたという人が多く、補助制度の開始により移動手段をタクシーに変えたという人は、比較的少ないということが分かりました。

問2-2 タクシー補助を利用することで使わなくなった移動手段（複数回答可）

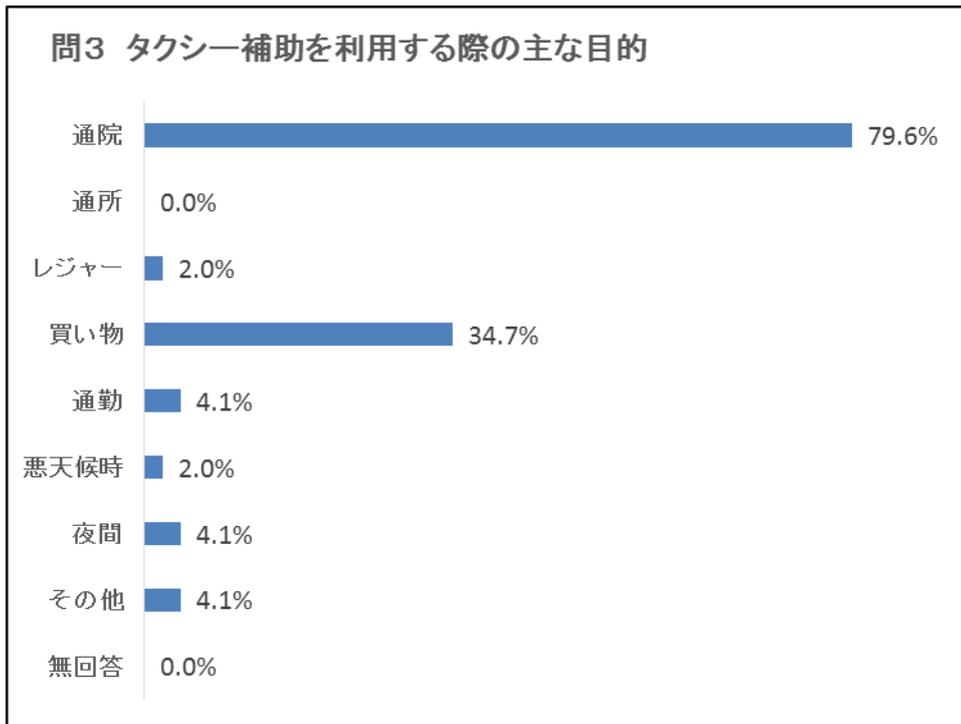
（問2で「はい」を選んだ方のみ）



いままで使っていた移動手段のうち、タクシーの利用により使われなくなったものとして、「家族・友人・知人の運転」が46.7%と最も多く、次に「自家用車」の26.7%でした。

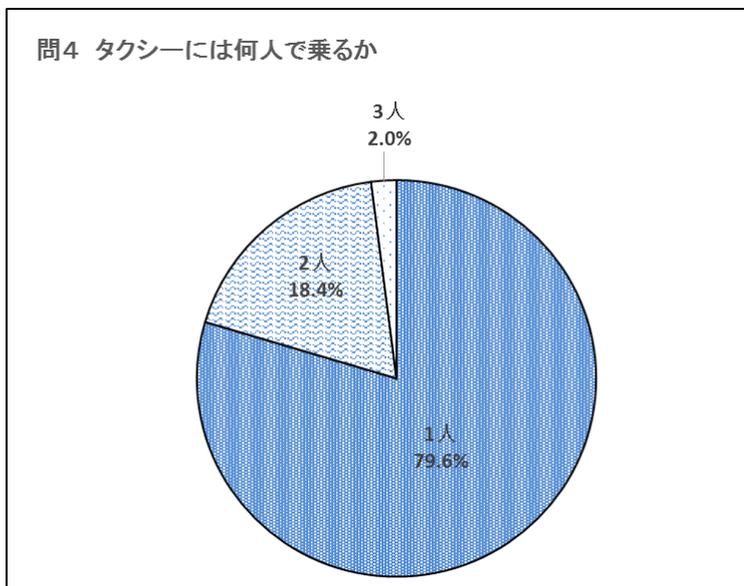
「家族・友人・知人の運転」については、**問1-2**の「タクシー補助を使わなかった理由」でも一番多く回答されています。これらの事から、運転免許を保有しない移動困難者の多くは、身近な人の支援によって移動しているということが再確認されました。

問3 主にどのような目的でタクシー補助を利用しますか（複数回答可）



前回調査と同じく「通院」という回答が最も多く、回答者の約8割（79.6%）の方が、通院のためにタクシー補助を使っていると回答しています。次に多いのが「買い物」の34.7%で、これも前回調査と同じです。

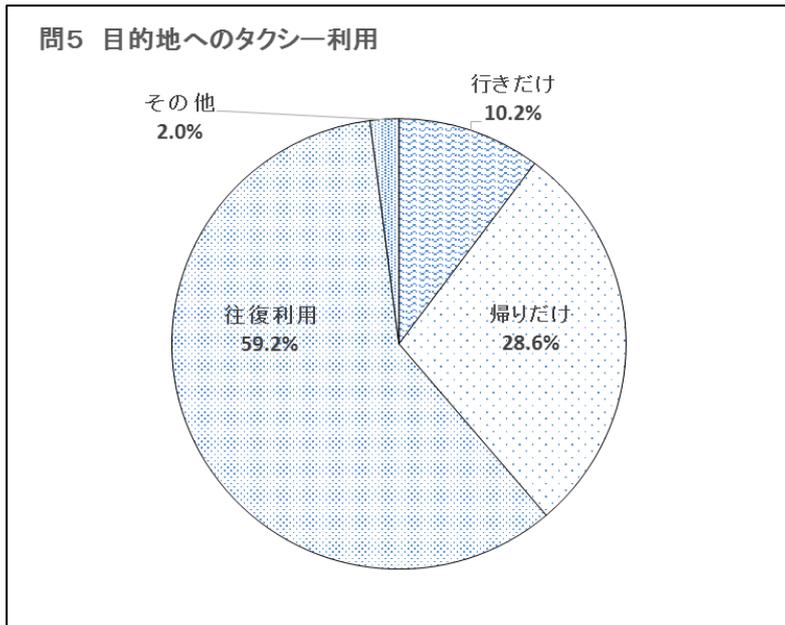
問4 タクシーには何人で乗られますか（回答は1つ）



約8割（79.6%）の方が「1人」で乗ると回答されました。「2人」の場合、夫婦で乗るといふ回答が多くみられました。

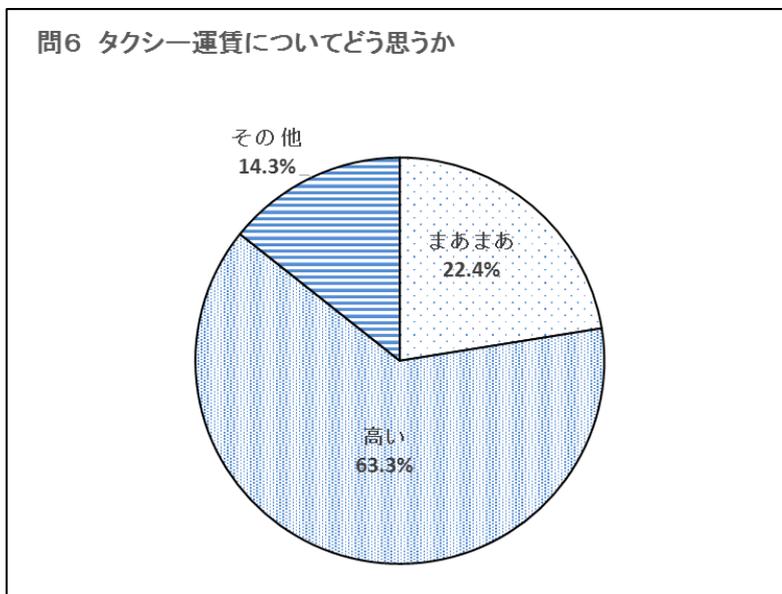
乗り合わせをしない理由としては、「通院先が違うから」「病院の予約時間が合わない」「同じ病院へ行く人が居ない」「通院だからタイミングが合わない」など通院利用に起因する回答が多く見受けられました。また、「近所に一緒に乗る人がいない」「近所にタクシーを利用する人が居ない」といったものや、「急に呼ぶため」「急に使うから」「一人で行く用事だから」「自分の思ったように動けるから」「通勤に使っているから」などの回答もありました。

問5 目的地までの往復について（回答は1つ）



59.2%の方が目的地までタクシーを往復利用しているという結果になりました。また、片道だけタクシーを使う場合では、帰りだけ使うという回答が多く 28.6%となっています。その理由としては、「買い物などで荷物が増えるので帰り道に利用する」という内容が主なものでした。

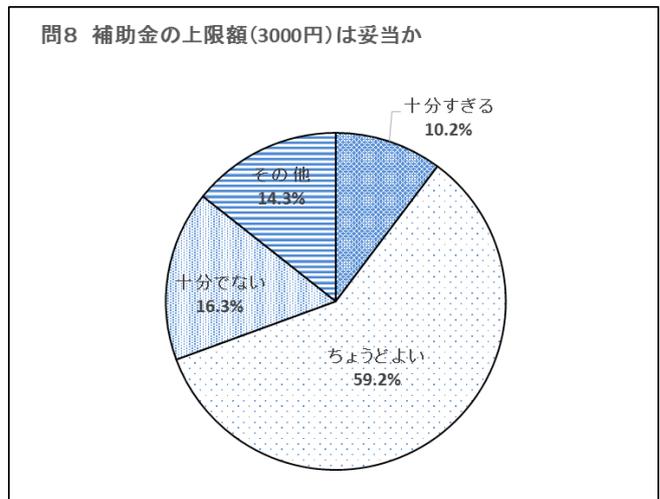
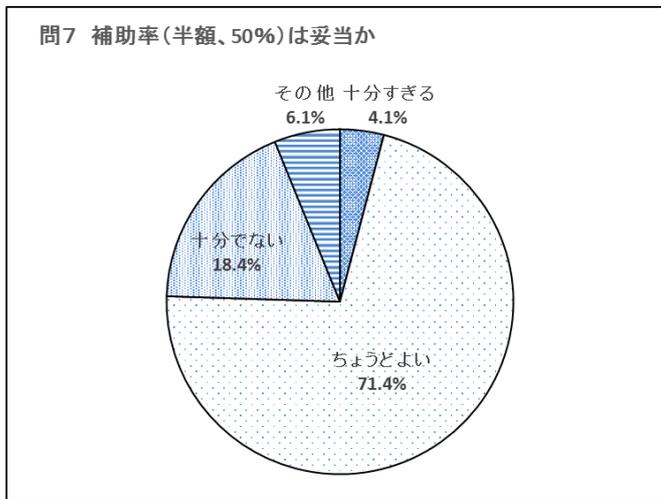
問6 タクシー運賃についてどう思いますか（回答は1つ）



タクシー運賃については、約6割（63.3%）の方が自身の経済状況等に鑑みて「高い」と感じておられるようです。「その他」の内容としては、「高いか安いかわからない」という意見が多く見受けられました。

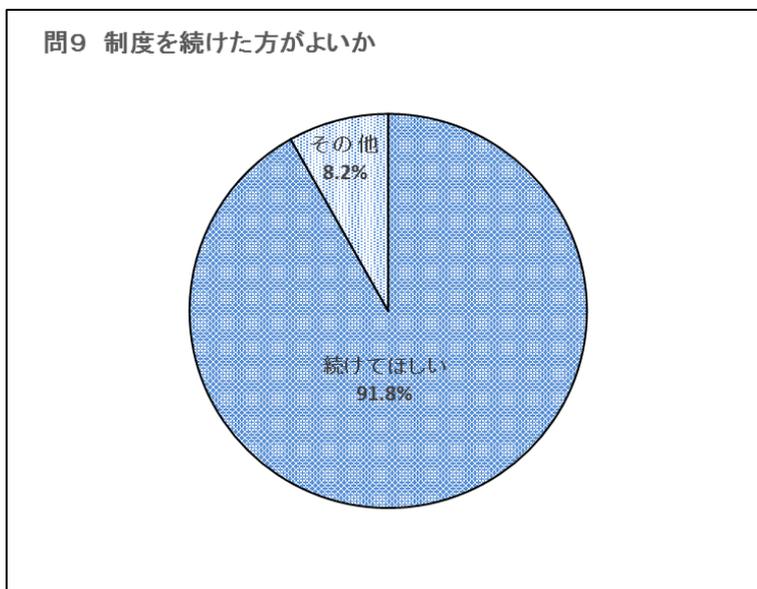
問7 現在の補助金の補助率（半額 50%）は妥当だと思いますか（回答は1つ）

問8 現在の補助金の上限額（3,000円）は妥当だと思いますか（回答は1つ）



問7の補助率については、約7割（71.4%）の方が「ちょうどよい」と回答しておられます。問8の上限額については、「ちょうどよい」という回答が約6割（59.2%）となっていますが、「十分すぎる」と合わせたところ全体の7割程度となり、利用者の多くが補助金額を妥当と考えているということが分かりました。

問9 この制度を続けた方が良いと思われませんか（回答は1つ）



制度を今後も続けた方がよいかという質問に対しては、9割（91.8%）の人が、「続けてほしい」と回答しました。「その他」の回答内容は、「どちらでも良い」というものでした。

今回の調査は電話によるヒアリング調査であったため、利用者の皆様から直接ご意見をうかがうことができました。以下は、調査時に寄せられたご意見です。

- ・「皆、制度が続いた方が良いと言っている」
- ・「家族の運転で外出できるので使っていないが、もしもの時のために登録している」
- ・「まだ使っていないが、あるだけで心強い」
- ・「制度をこのまま続けてほしい」
- ・「この制度がないと困ります」「大助かりです」
- ・「ありがたいと思っています」
- ・「とてもありがたいと思っています」
- ・「本当に良かった。イベント・会合に顔が出せるようになった」
- ・「美作市が破産しないか心配ですが、続けてほしい」
- ・「続けてほしい。なければ、外出が少なくなる」
- ・「足がなく乗せてくれる人も居ないので、どうしてもタクシーに乗らなければならないから、続けてほしい」
- ・「皆さん助かっているから続けてほしい」
- ・「非常に助かっている」
- ・「とても助かっています。やめられると困ります」
- ・「交通の便が悪く、主人も亡くなって車を運転してくれる人も居ないため、続けてほしい」
- ・「主人も免許を返納する予定なので、これからもっと使おうと思っている」
- ・「時々しか乗らないけど助かっています」

2 本調査の概要

1. 調査の目的

タクシー利用補助制度の導入に向けた基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の設計

- | | |
|--------------|-----------------------|
| (1) 調査地域 | 美作市全域 |
| (2) 調査対象 | 美作市タクシー利用者証の発行を受けられた方 |
| (3) サンプルング方式 | 無作為抽出 (100 件) |
| (4) 調査方法 | 電話による調査 |
| (5) 調査期間 | 平成31年2月1日～平成31年2月20日 |

3. 調査結果

- (1) 回答数 72件 (回答率 72%)

4. 報告書の見方

- (1) グラフの数値の単位は%である。集計は小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

平成31年3月

美作市役所 市民部 くらし安全課

〒707-8501 岡山県美作市栄町 38-2

TEL : 0868-72-5202 FAX : 0868-72-8091 E-Mail : kurashi@city.mimasaka.lg.jp